

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

Floating VHF FM Marine Transceiver

HX210J

取扱説明書



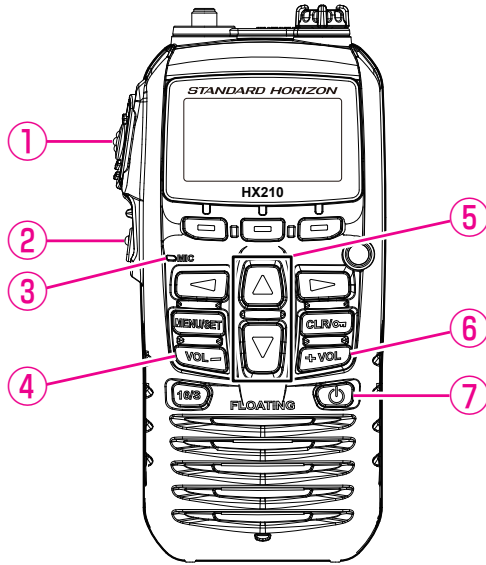
この製品は、船舶共通通信システム 国際 VHF 無線機です。
ご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

目次

基本操作ガイド	1	ソフトキー	24
特長	2	ソフトキーの機能設定 (ASSIGNMENT)	24
国際 VHF 無線局を開局される方へ	3	ソフトキーの表示時間 (KEY TIMER)	25
付属品	4	設定メニュー (SETUP) 操作	26
オプション	4	設定メニューの基本的な操作	26
安全上のご注意 (必ずお読みください)	5	チャンネル設定 (CHANNEL SETUP) ...	26
準備	6	チャンネルグループ (CHANNEL GROUP) ...	26
バッテリーと充電	6	ウェザーアラート (WEATHER ALERT) ...	26
充電	6	スキャンメモリー (SCAN MEMORY)	27
電池残量表示について	7	スキャンタイプ (SCAN TYPE)	27
ベルトクリップの取り付け / 取り外し	7	スキャン再開時間 (SCAN RESUME) ...	27
各部の名称と働き	8	マルチワッチ (MULTI WATCH)	28
本体	8	プライオリティ チャンネル (PRIORITY CH)	28
ディスプレイ表示	10	サブチャンネル (SUB CH)	28
基本的な操作	12	FM ラジオ受信機能の設定 (FM SETUP) ...	29
電源の ON/OFF	12	FM ラジオ用メモリーに 追加する (ADD)	29
受信する	12	FM ラジオ用メモリーを 編集する (EDIT)	30
送信する	12	FM ラジオ用メモリーを 削除する (DELETE) ...	30
送信出力の切り替え	12	設定 (CONFIG)	31
チャンネルグループ (CHANNEL GROUP) ...	13	ビーブ音 (KEY BEEP)	31
キーロック操作	14	バッテリーセーブ機能 (BATTERY SAVE)	31
NOAA ウェザーチャンネル	14	ストロボ LED ランプ (STROBE LED)	31
ウェザーアラート (WEATHER ALERT) ...	14	キー設定 (KEY SETUP)	33
プリセットチャンネル機能	15	バックライトの輝度調節 (BACKLIT LEVEL)	33
プリセットチャンネルの設定	15	バックライトの点灯時間 (BACKLIT TIMER)	33
プリセットチャンネルの呼び出し	16	画面のコントラスト調節 (CONTRAST)	34
プリセットチャンネルの解除	16	リセット (RESET)	34
スキャン (SCAN)	17	定格	35
スキャンメモリーの設定	17	国際 VHF チャンネル表	36
スキャンタイプの設定	17		
メモリスキャン (M-SCAN)	18		
プライオリティスキャン (P-SCAN) ...	19		
マルチワッチ (MULTI WATCH)	20		
マルチワッチ機能の設定	20		
2 波同時受信をスタートする	21		
FM ラジオ放送を聴く	22		
FM ラジオ放送帯をスキャンする	22		
FM ラジオ放送の周波数をメモリーする ...	22		
メモリーを呼び出す	23		

基本操作ガイド



1. 電源が入るまで、**電源** ボタン⑦を長く押します。
2. **[VOL -]** ④キーまたは **[VOL +]** キー⑥を押して、聞きやすい音量に調節します。
3. **[SQL]** キー②を押してから、**[▲]/[▼]** キー⑤を押して、「ザー」という雑音が消えるように調節します。
4. **[▲]/[▼]** キー⑤を押して、希望するチャンネルを選びます。
5. **PTT** スイッチ (送信スイッチ) ①を押しながら、マイク③に向かって話します。相手の話を聞くときは、**PTT** スイッチ①を放します。
電源を切るには、**電源** ボタンを長く押します。

特長

- **国際 VHF 規格 総務省技術適合証明取得機種**
- **国際 VHF で使われる全てのチャンネルをカバー**：緊急連絡用チャンネルの“チャンネル 16”、“チャンネル 9”を含む、国際 VHF に割り当てられている全てのチャンネルを使用することができます。
- **送信出力 5W**：長時間の連続送信においても安定した送信出力を確保します。送信出力は簡単にハイパワー“5W”からローパワー（“2.5W”、または“1W”）に変えることができます。相手が近くにいる時はローパワーにしてバッテリーの運用時間を延ばすことができます。
- **防水フローティングトランシーバー**：水上に落としても安心な IPX7 防水型フローティングハンディトランシーバーです（IPX7：真水 / 静水に水深 1m で 30 分間没しても機器の動作に影響を及ぼさない事）。
- **LED 照明付フルドットディスプレイ**：LED 照明付きのフルドットマトリクス液晶ディスプレイを採用しました。夜間でもすぐに動作状態を確認することができます。
- **E20 対応**：イージー・ツー・オペレート (Easy 2 Operate) に対応していますので、非常に操作が簡単です。
- **プリセットメモリー**：簡単な操作で連絡用チャンネルのメモリー / 呼び出しができる、プリセット型の 10 チャンネルのメモリーチャンネルを採用しました。
- **緊急連絡用チャンネルキー**：緊急時、瞬時に緊急連絡用チャンネルの“チャンネル 16”または“サブチャンネル”（工場出荷時設定：チャンネル 9）にアクセスすることができる専用の [16/S] キーを配置しました。
- **大音量 600mW スピーカー採用**：大音量のスピーカーを採用していますので、航行中の船上でも十分な聞き取りやすい大音量で聞くことができます。
- **2波 / 3 波受信機能**：2つまたは 3 つのチャンネルを自動で監視して受信することができます。連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルの信号をチェックして、緊急チャンネルを優先して受信することができます。
- **大容量リチウムイオンバッテリー内蔵**：1850mAh のリチウムイオン電池を内蔵、優れた高周波回路設計技術による低い消費電力で長時間の運用を可能にしていますので、長距離のクルージングにも安心して使用できます。
- **高輝度白色 LED**：高輝度白色 LED をフロントパネルに配置しました。水に落とした場合に自動的に点灯しますので、周囲が暗い状況でも無線機の位置を容易に確認することができます。また、夜間にペンライトの代わりとして使用することができます。
- **FM ラジオ放送受信**：国際 VHF による通信を待ち受けしながら、同時に FM 放送帯 (65 ~ 108MHz、FM 補完放送対応) を受信することができますので、マルチワッチ機能で国際 VHF 通信を待ち受けしながら FM 放送を楽しんだり、天候などの情報収集にも便利です。

国際 VHF 無線局を開局される方へ

当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

■ 無線技士の資格が必要です

この製品をご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です

無線局の開局に必要な申請書（無線機に同梱されています）に必要な事項を記入のうえ、**国の収入印紙**（**県の収入証紙は認められません**。誤って購入した場合、県の収入証紙を返還して現金の還付を受けることはできませんので十分にご注意ください）を貼付して、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局（沖縄の場合は沖縄総合通信事務所）へ提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。

無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役1年以内、罰金100万円以下に処せられる場合があります。

■ 運用マナーを守って運用してください

国際 VHF はアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対に止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役1年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

付属品

- **CAT460** または **SRA-19B** ラバーアンテナ
- **SAD-25B** SBH-25 用 AC アダプター
- **SBH-25** 充電用クレードル
- **CLIP-22** ベルトクリップ
- **E-DC-19A** シガーライタープラグ付き外部電源アダプター
- **ハンドストラップ**
- **取扱説明書**（本書）
- **無線局免許申請書**（一式）
- **保証書**

※リチウムイオン電池パック (7.4V 1850mAh) は HX210J 本体に内蔵されています。

オプション

- **SAD-25B** AC アダプター
- **SSM-14A** 防水スピーカーマイクロホン（イヤホンジャック付き）
- **SEP-10A** SSM-14A 用イヤホン
- **MH-73A4B** 防水スピーカーマイクロホン
- **SSM-55A** イヤーピース マイクロホン
- **SCH-11** ベルトクリップハンガー

防水 IPX7 相当について

本機の防水性能は、付属のアンテナを取り付け、マイク / スピーカー接続端子の防水キャップをしっかりと取り付けた状態で、水深1mの水没に30分間耐えることができます。

この防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎ **キズ、劣化、汚れなどの確認**
各ボタンのラバー、マイク / スピーカー接続端子の防水キャップ。
- ◎ **お手入れのしかた**
海水・砂・泥などがついたときは、やや弱めの水流の真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ **オーバーホールのお奨め**
お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、あるいは、各ボタンのラバーやマイク / スピーカー接続端子の防水キャップにキズや劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。
- ◎ **その他の注意**
水中では使用できません。

安全上のご注意（必ずお読みください）

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。




注意


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。
たとえば、は「分解禁止」を示しています。



本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。
たとえば、は「電源ケーブルを外す」を示しています。

危険



当社指定以外の充電器で充電しない。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



電池の漏液が皮膚に付着したり、目に入ると危険。
化学火傷を起こす恐れがあります。直ちに医者の診断を受けてください。

警告



分解や改造をしない。
本機は電波法に基づく無線局です。分解や改造をすると違法ですのでおやめください。また、怪我や故障の原因になります。



ベルトクリップの取り付けは確実に行ってください。
間違った取り付けかたは、落下によるケガや本体の破損などの原因になります。

注意



引火性のガスが発生する場所で充電しない。
発火事故の原因になることがあります。



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない。
故障の原因になります。



磁気カードなどを本機に近づけない。
キャッシュカードなどの磁気データが消去されることがあります。



直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。
変形や変色等の原因になります。



シンナーやベンジンでケースを拭かない。
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを落としてください。



充電器を使用しないときは、プラグをコンセントから抜く。



お子様の手の届かない場所に保管する。
ケガなどの原因になります。

バッテリーと充電

お買い上げ後無線機を初めて使用する時、または、内蔵のリチウムイオン電池の残量がなくなった場合は、付属の充電用クレードル SBH-25 と AC アダプタ SAD-25B を使用して充電します。

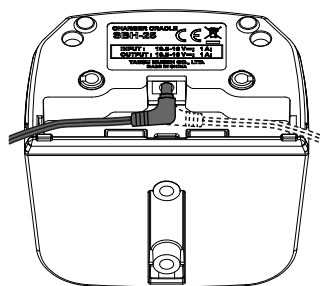
充電

付属の充電用クレードル SBH-25 に AC アダプタ SAD-25B を接続して、空になった内蔵バッテリーを完全に充電するには、約 3 時間* かかります。

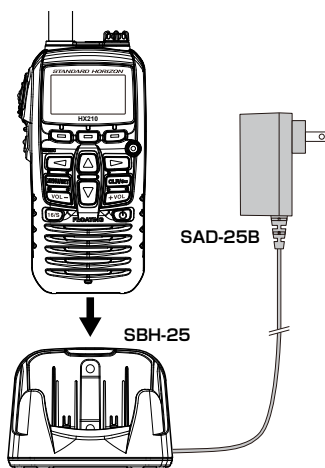
*：電池の状態によっては、充電時間が長くなることがあります。

1. 右図を参照して、AC アダプタのプラグを差し込みます。
2. 無線機の電源を切ります。
3. HX210J が正しく挿入されると、HX210J の LCD ディスプレイにバッテリー充電アイコンが表示されます。
4. 4. 充電が完了すると、バッテリー充電アイコンが消えます。

参考：充電用クレードル SBH-25 に付属のシガーライタープラグ付き DC ケーブル E-DC-19A を接続して、内蔵バッテリーを約 3 時間で充電できます。E-DC-19A は DC12V のシガーライターソケット専用です。








SBH-25(底面)



注意

- SAD-25B および SBH-25、E-DC-19A は防水構造ではありません。乾いた乾燥した場所で充電してください。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。また、正しい使いかたで約 300 回充放電することができます。
- 内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

電池残量表示について

	: 満充電です。
	: 十分に使えます。
	: 残りわずかです。
	: バッテリーが空になりました。充電してください。
	: すぐに充電してください。(点滅表示)

注意

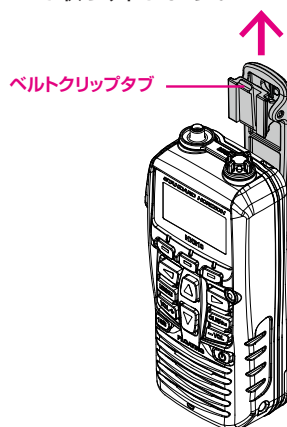
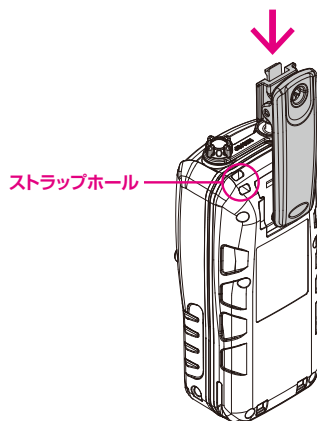
トランシーバーを長期間使用しない場合は、保管する前に内蔵バッテリーを完全に充電してください。トランシーバーを長期間保管する場合は、過放電を防ぐために6か月ごとに内蔵バッテリーを充電してください。

内蔵リチウムイオン電池について

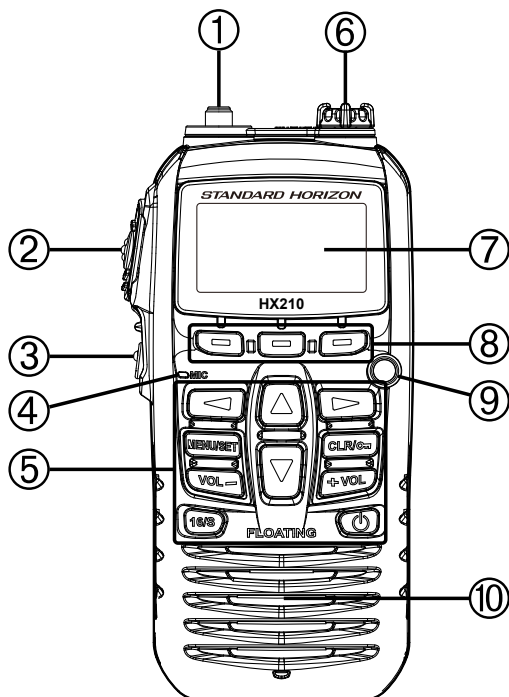
容量	1850mAh	
定格電圧	7.4V	
温度範囲	最低	最高
充電温度範囲	5°C	35°C
使用温度範囲	-20°C	60°C
保管温度範囲	-10°C	35°C

ベルトクリップの取り付け / 取り外し

- 付属のベルトクリップを無線機背面の溝に差し込み、“カチッ”と音がするまで確実にスライドさせます。
- ベルトクリップタブを後方に押してロックを解除しながら、ベルトクリップを上方にスライドさせて取り外します。



本体



① アンテナ端子 (VHF ANT)

付属のラバーアンテナ CAT460 または SRA-19B を取り付けます。
アンテナの根元を持って、右に回して取り付けます。

② PTT (送信) スイッチ

このスイッチを押しながらマイク④に向かって話します。
相手の声を聞くとときはこのボタンを放します。

③ SQL スイッチ

- このスイッチを押してから▲ / ▼キーを押して、スケルチレベルを調節します。
- 長押しするとスケルチが開いて、弱い信号を聞くことができます。もう一度、押すと通常のスケルチ動作に戻ります。

④ マイク

マイクを口元から約 2.5cm 離して、普通の声の大きさで話してください。

⑤ キーパッド

▲ (アップ) キー / ▼ (ダウン) キー

- 通話チャンネルを選択します。
- SQL ボタンを押した後に、このキーを押してスケルチレベルを調節します。

◀キー / ▶キー

いずれかのソフトキー⑧を押してから、このキーを押してソフトキーを切り替えます。

MENU/SET キー

- MENU 画面を表示します。
- 長く押すと、設定 (SETUP) メニュー画面を表示します。

CLR/ On キー

- メニュー画面や設定 (SETUP) メニュー操作時に、項目選択や設定をキャンセルして通常画面に戻ります。
- 長く押すと、全てのキー (PTT スイッチと SQL スイッチ、VOL キーを除く) をロックします。

VOL - キー / VOL+ キー

受信音を聞きやすい音量に調節します。

16/S キー

緊急連絡用チャンネル “CH16” を呼び出すことができます。

長く押すとサブチャンネルを呼び出すことができます。

もう一度押すと元のチャンネルに戻ります。

⏻ (電源) キー

長く押すと電源がオンまたはオフになります。

⑥ マイク / スピーカー端子

オプションのスピーカーマイクなどを接続します。

⑦ 液晶ディスプレイ

運用チャンネルや各種設定の状態を表示します。

⑧ ソフトキー

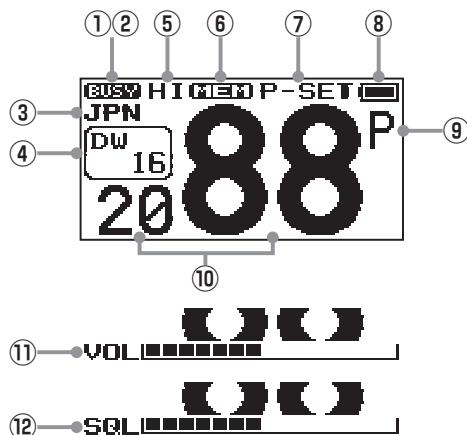
- いずれかのソフトキーを押すと、各ソフトキーの上に機能が表示されます。◀ / ▶ キーを押してソフトキーを切り替えます。
- 設定メニュー “ソフトキーの機能設定 (ASSIGNMENT)” (24 ページ) で機能の割り付けを変更できます。

⑨ LED ストロボランプ

HX210J を水に落としたとき、または [STRB] ソフトキーを押すと白色に光ります。






⑩ スピーカー

ディスプレイ表示



- ① **“BUSY” インジケータ**
スケルチが開いているときに表示します。
- ② **“TX” インジケータ**
送信しているときに表示します。
- ③ **チャンネルグループ表示**
現在のチャンネルグループを表示します。
USA : USA
INTL : International
JPN : 日本
- ④ **“DW” / “TW” 表示**
DW : デュアルレシーブ機能がオン
TW : トリプルレシーブ機能がオン
数字はプライオリティチャンネル（優先チャンネル）を示しています。
- ⑤ **送信出力表示**
HI : 5 W
MD : 2.5 W
LO : 1 W
- ⑥ **“MEM” アイコン**
“スキャンメモリー” に設定されているチャンネルで表示します。
- ⑦ **“P-SET” アイコン**
“プリセットチャンネルメモリー” に設定されているチャンネルで表示します。

⑧ バッテリーインジケータ

	: 満充電です。
	: 十分に使えます。
	: 残りわずかです。
	: バッテリーが空になりました。充電してください。
	: すぐに充電してください。(点滅表示)

⑨ “P” アイコン

プライオリティチャンネル（優先チャンネル）に設定されているチャンネルで表示します。

“D” アイコン

FM ラジオモード中、デュアルレシーブ機能がオンのときに表示します。

“T” アイコン

FM ラジオモード中、トリプルレシーブ機能がオンのときに表示します。

⑩ チャンネル表示

運用チャンネルを表示します。

⑪ VOL バーグラフ表示

VOL -キー / VOL+ キーを押したときに、受信音の音量レベルを表示します。

⑫ SQL バーグラフ表示


側面の SQL スイッチを押したときに、スケルチレベルを表示します。

基本的な操作


電源の ON/OFF

1. [⏻ (電源)] キーを長く押しすと電源がオンになります。
電源をオフにするには、もう一度 [⏻] (電源) キーを長く押しします。

受信する

1. 側面の [SQL] スイッチを長押しして、“**BUSY**” インジケータを点灯させます。A digital display showing the number '16' in large digits. Above the number, the text 'BUSY HI' is displayed in a small box, and 'USA' is displayed below it. A battery level indicator is visible in the top right corner.
2. [VOL-] キーまたは [VOL+] キーを押して、聞きやすい音量に調節します。
3. 側面の [SQL] スイッチを押して通常のスケルチ動作に戻します。
4. [▲]/[▼] キーを押して運用チャンネルを選択します。チャンネルについては“**国際 VHF チャンネル表**” (36 ページ) を参照してください。
5. 信号を受信すると “**BUSY**” アイコンが表示されます。

送信する

1. [PTT] スイッチを押しながら話します。
送信中は “**TX**” アイコンが表示されます。A digital display showing the number '16' in large digits. Above the number, the text 'TX HI' is displayed in a small box, and 'USA' is displayed below it. A battery level indicator is visible in the top right corner.
2. [PTT] スイッチを放すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。

参考

マイクと口元を約 2.5cm 離して、普通の声の大きさと話してください。

送信出力の切り替え

送信出力(電波の強さ)は、各チャンネルごとに“**HI**”(5W) / “**MD**”(2.5W) / “**LO**”(1W) の3段階で切り替えることができます。

送信出力は運用規則に則り、設定してください。

1. いずれかのソフトキーを押します。

2. ◀ / ▶キーを押して“HI”または“MD”、“LO”ソフトキーを表示させます。
3. HI” または “MD”、“LO” ソフトキーを押して送信出力を選択します。



- ・送信出力の設定は電源を切っても保持されます。
- ・送信禁止チャンネル (CH70) と LO (1W) 専用チャンネル (CH15 および CH17、CH75、CH76) では操作できません。
- ・CH16 では、送信出力を変更しても、電源を切って入れたとき、または次に CH16 を呼び出したときは自動的に “HI” に設定されます。

注意

- ・連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、10秒前に警告のビープ音が鳴り、その後自動的に送信が停止します。
- ・自動的に送信が停止したときには、一度 **PTT** スイッチを放して、10秒以上経ってから再度 **PTT** スイッチを押して送信してください（送信停止後 10 秒間は **PTT** スイッチを押しても送信できません）。

白色 LED ストロボランプ

HX210J を水に落としたときには、フロントパネルの LED ストロボランプが自動で白色に光りますので、暗い場所でも HX210J の位置を容易に確認することができます。この機能は HX210J の電源がオフでも動作します。HX210J を水から引き上げると約 15 秒で自動的に消灯します。

セットモードでこの機能について設定することができます。詳しくは、“**ストロボ LED ランプ (STROBE LED)**” (31 ページ) を参照してください。

チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)

本機のチャンネルグループを USA (アメリカ) /INT (インターナショナル) / JPN (日本) から選択できます。

注意: 日本国内では工場出荷時設定の “JPN” (日本) のまま、ご使用ください。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して、“**CHANNEL SETUP**” を選択します。
3. [SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、“**CHANNEL GROUP**” を選択します。

5. [SELECT] ソフトキーを押します。
6. ▲ / ▼キーを押して、チャンネルグループを“USA”、“INTERNATIONAL”、“JAPAN” から選択します。
7. [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。
8. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。



キーロック操作

誤ってフロントパネルのキーに触れた時などに、チャンネルなどが変わらないようにロックすることができます。

[CLR/ On] キーを長押しすると、画面に“KEY LOCK”と表示されて、フロントパネルのキーがロックされます。

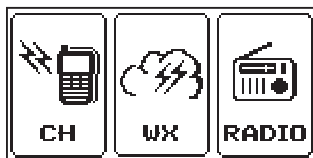
もう一度、[CLR/ On] キーを長押しすると、画面に“UNLOCK”と表示されて、ロックが解除されます。

NOAA ウェザーチャンネル

NOAA (アメリカ海洋大気局) ウェザーチャンネルを受信します。

参考 : NOAA ウェザーチャンネルはアメリカで運用されているため、日本の周辺では受信できません。

1. [MENU/SET] キーを押して、メニュー画面を表示し、[WX] ソフトキーを押します。
トランシーバーはウェザーチャンネルモードになり、最後に使用された NOAA ウェザーチャンネルを表示します。
2. ▲ / ▼キーを押して、NOAA ウェザーチャンネル (1 ~ 10) を選択します。



3. [MENU/SET] キーを押してメニュー画面を表示し、[CH] ソフトキーを押します。

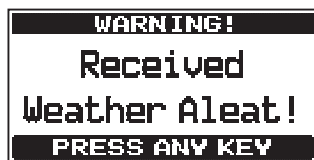
ウェザーチャンネルモードに切り替える前の、元のチャンネルに戻ります。

ウェザーアラート (WEATHER ALERT)

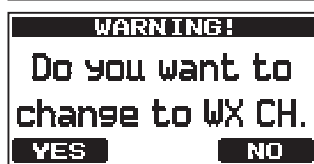
HX210J はスキャン中にウェザーチャンネルで停止したとき、または、別の運用チャンネルで動作中、FM ラジオモード中にウェザーアラートを受信するとアラーム音が鳴って、画面に表示されます。

ウェザーアラート機能を有効にするには、“**ウェザーアラート (WEATHER ALERT)**” (26 ページ) を参照してください。

NOAA ウェザーチャンネルでウェザーアラートを受信するとスキャンが停止して、大きなアラーム音が鳴ります。いずれかのキーを押すとアラーム音が止まります。



いずれかのキーを押すと確認画面が表示されます。ウェザーチャンネルに切り替えるには [YES] ソフトキーを押し、国際 VHF チャンネルに戻るには [NO] ソフトキーをを押しします。



プリセットチャンネル機能

よく使うチャンネルを最大 10 個まで記憶 (プリセット) しておいて、簡単に呼び出すことができます。

[P-SET] ソフトキーやその他のソフトキーの割り付けについて、詳しくは“ソフトキーの機能設定 (ASSIGNMENT)” (24 ページ) を参照してください。

プリセットチャンネルの設定

1. ▲ / ▼ キーを押して、プリセットしたいチャンネルを表示させます。
2. いずれかのソフトキーを押します。
3. ◀ / ▶ キーを押して [P-SET] ソフトキーを表示させます。



4. [P-SET] ソフトキーを長押しすると、[P-SET] アイコンとチャンネル番号が点滅します。



5. [ADD] ソフトキーを押すと、プリセットチャンネルに設定され “P-SET” アイコンが表示されます。



6. 手順 1 ~ 5 を繰り返して、最大 10 チャンネルまで設定できます。11 チャンネル以上、登録しようとするエラー音が鳴ります。

プリセットチャンネルの呼び出し

1. いずれかのソフトキーを押します。
2. ◀ / ▶キーを押して [P-SET] ソフトキーを表示させます。



3. [P-SET] ソフトキーを押してから、▲ / ▼キーを押してプリセットチャンネルを選択します。



4. 通常の運用チャンネルに戻るには、いずれかのソフトキーを押してから [P-SET] ソフトキーを押します。“P-SET” アイコンが消えます。

プリセットチャンネルの解除

1. いずれかのソフトキーを押します。
2. ◀ / ▶キーを押して [P-SET] ソフトキーを表示させます。



3. [P-SET] ソフトキーを押してから、▲ / ▼キーを押して、設定を解除するプリセットチャンネルを選択します。



4. いずれかのソフトキーを押してから、[P-SET] ソフトキーを長押しします。



5. [DEL] ソフトキーを押して、プリセットチャンネルの設定を解除します。
6. プリセットチャンネルの解除の操作を終了するには、[BACK] ソフトキーを押します。

スキャン (SCAN)

スキャン機能には、“メモリスキャン”と“プライオリティスキャン”の2種類のスキャンがあります。“メモリスキャン”はスキャンメモリに設定されたチャンネルとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルをスキャンします。

“プライオリティスキャン”は優先チャンネル（チャンネル16）とスキャンメモリとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルをスキャンします。スキャン中にいずれかのチャンネルで信号を受信すると、そのチャンネルでスキャンが一時停止して、受信音を聞くことができます。信号がなくなると自動でスキャンを再開します。

スキャンメモリの設定

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して、“CHANNEL SETUP” を選択します。
3. [SELECT] ソフトキーを押してから、▲ / ▼キーを押して、“SCAN MEMORY” を選択します。
4. [SELECT] ソフトキーを押します。
5. ▲ / ▼キーを押して、スキャンするチャンネルを選択してから、[MEM] ソフトキーを押します。設定されたチャンネルの右側には“ON” アイコンが表示されます。



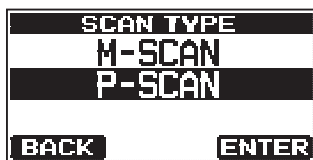
6. 手順5を繰り返して、スキャンする全てのチャンネルを設定します。スキャンメモリの設定を解除するには、チャンネルを選択して [MEM] ソフトキーを押します。“ON” アイコンが消えます。
7. 全てのチャンネルの設定が完了したら、[CLR/On] キーを押して通常画面に戻ります。

スキャンメモリに設定されたチャンネルは、通常画面では“MEM”アイコンが表示されます。

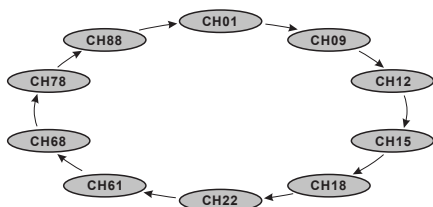
スキャンタイプの設定

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して、“CHANNEL SETUP” を選択します。
3. [SELECT] ソフトキーを押してから、▲ / ▼キーを押して“SCAN TYPE” を選択します。
4. [SELECT] ソフトキーを押します。

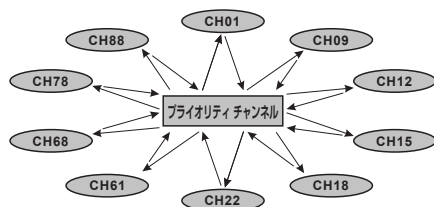
- ▲ / ▼キーを押して、“M-SCAN”（メモリスキャンまたは“P-SCAN”（プライオリティスキャン））を選択します。



- [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。
- [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。



メモリスキャン (M-SCAN)



プライオリティスキャン (P-SCAN)

メモリスキャン (M-SCAN)

- 設定メニューでスキャンタイプを“M-SCAN” に設定します。詳しくは“スキャンタイプの設定”（17 ページ）を参照してください。
- 側面の SQL スイッチを押してから、▲ / ▼キーを押して、信号がないときの“ザー”という雑音が消えるレベルに調節します。
- いずれかのソフトキーを押します。
- ◀ / ▶キーを何度か押して、画面の下部に [SCAN] ソフトキーを表示させて、[SCAN] ソフトキーを押します。

画面に“MEM SCAN” アイコンが表示され、メモリスキャンが開始されます。



スキャンメモリーとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルを小さい番号から大きい番号の順にスキャンして、信号を受信するとそのチャンネルで自動的に一時停止して信号を聞くことができます。一時停止中は画面のチャンネル番号が点滅します。

- スキャンを止めるには [SCAN] ソフトキーまたは [16/S] キー、[CLR] キーを押します。


プライオリティスキャン (P-SCAN)

1. 設定メニューでスキャンタイプを“**P-SCAN**”に設定します。詳しくは“**スキャンタイプの設定**”（17ページ）を参照してください。
2. 側面の**SQL**スイッチを押してから、**[VOL -]**キー / **[VOL+]**キーを押して、信号がないときの“ザー”という雑音が消えるレベルに調節します。
3. いずれかのソフトキーを押します。
4. ◀ / ▶キーを何度か押して、画面の下部に**[SCAN]**ソフトキーを表示させて、**[SCAN]**ソフトキーを押します。画面の右側に“**PRI SCN**”アイコンが表示され、メモリスキャンが開始されます。
スキャンメモリーまたはプリセットチャンネルに設定されたチャンネルとプライオリティチャンネル（優先チャンネル）を交互にスキャンして、信号を受信するとそのチャンネルで自動的に一時停止して信号を聞くことができます。一時停止中は画面のチャンネル番号が点滅します。
5. スキャンを止めるには**[SCAN]**ソフトキーまたは**[16/S]**キー、**[CLR]**キーを押します。

マルチワッチ (MULTI WATCH)

マルチウォッチは、2つまたは3つのチャンネルをスキャンして、優先チャンネルで信号を受信すると自動的に一時停止して信号を聞くことができます。

- デュアルウォッチでは、通常のVHFチャンネル(またはFM放送周波数*)と優先チャンネルが交互にスキャンされます。
- トリプルウォッチでは、通常のVHFチャンネル(またはFM放送周波数*)、プライオリティチャンネル、サブチャンネルが順番にスキャンされます。

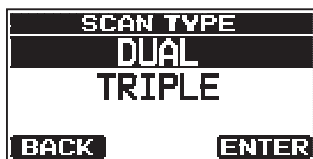
* (デュアルウォッチ機能またはトリプルウォッチ機能を開始してから、FM放送ラジオの受信を開始します。 (“FMラジオ放送を聴く” (22ページ)を参照) FMラジオ受信画面に “” または “” のアイコンが表示されます。)


参考

優先チャンネルとサブチャンネルは、それぞれCH16、CH09 (工場出荷時) から他のチャンネルに変更することができます。詳しくは “**プライオリティチャンネル (PRIORITY CH)**” (28ページ) または “**サブチャンネル (SUB CH)**” (28ページ) を参照してください。

マルチワッチ機能の設定

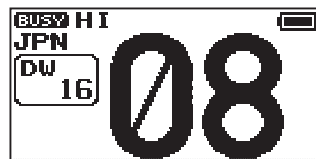
1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼ キーを押して、“CHANNEL SETUP” を選択します。
3. [SELECT] ソフトキーを押してから、▲ / ▼ キーを押して “MULTI WATCH” を選択します。
4. [SELECT] ソフトキーを押します。
5. ▲ / ▼ キーを押して、“DUAL” または “TRIPLE” を選択します。
工場出荷時設定は “DUAL” です。



- “DUAL” に設定すると、“優先チャンネル” と “通常の VHF チャンネル” を交互にスキャンします。
 - “TRIPLE” は、“優先チャンネル” と “サブチャンネル”、“通常の VHF チャンネル” を交互にスキャンします。
6. [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。
 7. [CLR/ ] キーを押して通常画面に戻ります。

2 波同時受信をスタートする

1. 設定メニューでマルチワッチ機能を“**DUAL**”に設定します。詳しくは“**マルチワッチ機能の設定**”（20 ページ）を参照してください。
2. 側面の **SQL** スイッチを押してから、**[VOL -]** キー / **[VOL+]** キーを押して、信号がないときの“ザー”という雑音が消えるレベルに調節します。
3. いずれかのソフトキーを押します。
4. ◀ / ▶ キーを押して **[DW]** ソフトキーを表示させます。
5. **[DW]** ソフトキーを押します。



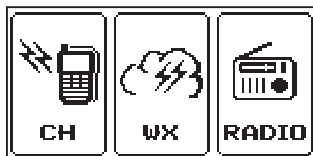
6. 画面に“**DW 16**”のように表示されます。（DW に続く数字は優先チャンネル番号を表しています。）
優先チャンネルで信号を受信すると、一時停止して信号を受信します。また信号が無くなるまで優先チャンネルを受信し、信号がなくなると2つのチャンネルの交互受信を再開します。
7. 2波同時受信を止めるには、もう一度 **[DW]** ソフトキーまたは **[CLR/ On]** キーを押します。

前項の“**マルチワッチ機能の設定**”の手順2で“**TRIPLE**”を選択すると、**[TW]** ソフトキーが表示され、押すとトリプルワッチ（3波同時受信）機能が動作します。

FM ラジオ放送を聴く

FM ラジオ放送の受信ができます。

1. **[MENU/SET]** キーを押して、メニュー画面を表示し、**[RADIO]** ソフトキーを押します。
FM ラジオ放送受信モードになります。



2. **▲ / ▼**キーを押して、周波数を設定します。



3. FM ラジオ放送受信モードを終了するには、**[MENU/SET]** キーを押してから、**[CH]** ソフトキーを押します。元のマリーンチャンネルに戻ります。

FM ラジオ放送帯をスキャンする

1. 前項を参照して、FM ラジオ放送受信モードにします。
2. **[SWEEP]** ソフトキーを押すと、スキャンを開始します。
現在の周波数から高い周波数へ 100kHz ステップでスキャンして、FM 放送を受信するとスキャンを解除します。
3. スキャンを止めるには、**▲ / ▼**キーを押します。

FM ラジオ放送の周波数をメモリーする

FM ラジオ放送の周波数を最大 20 件までメモリーして、簡単に呼び出すことができます。

1. FM ラジオ放送受信モードで、メモリーする周波数を選択します。
2. **[MEM]** ソフトキーを押して“**ADD**”画面を表示します。
3. **[SELECT]** ソフトキーを押して、最大 12 文字のメモリータグ（名前）を入力します。



- ▲ / ▼キーを押してメモリータグ（名前）の最初の文字を選択します。
- [**SELECT**] ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



- 手順 4 と 5 を繰り返してすべての文字を入力します。
もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 4 と 5 に従って正しい文字を入力します。
- 12 文字すべて入力するか、または◀ / ▶キーを押して“**FINISH**”を選択して、[**ENTER**] ソフトキーを押すとメモリーされます。

メモリーを呼び出す

- [**NEXT**] ソフトキーを押すと、FM ラジオ放送メモリーを呼び出します。
- [**NEXT**] ソフトキーを押すたびに、メモリーが順に呼び出されます。

ソフトキー

ソフトキー（1～6）に、よく使用する機能を割り当てることができます。

ソフトキーの機能設定（ASSIGNMENT）

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼ キーを押して “CONFIG” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼ キーを押して “KEY SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼ キーを押して “ASSIGNMENT” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
5. ▲ / ▼ キーを押して設定するソフトキーを選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。
6. ▲ / ▼ キーを押してソフトキーに割り当てる機能を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。

設定できる機能は以下のとおりです。



表示	キー表示	機能	ソフトキー番号 (工場出荷時設定)
HI/MD/LO	HI/MD/LO	送信出力切換	2
PRESET	P-SET	プリセットチャンネルと通常モードの切換 現在のチャンネルをプリセットチャンネル に追加 / 削除	1
DW/TW	DW/TW	2 波同時受信*または 3 波同時受信* の開始 / 停止	3
MEMORY	MEM	現在のチャンネルをスキャンメモリーに 追加 / 削除	4
SCAN	SCAN	スキャンの開始 / 停止	5
STROBE	STRB	ストロボ LED ランプの点灯 / 消灯	6
NONE	—	(機能なし)	

7. [CLR/ ] キーを押して通常画面に戻ります。

ソフトキーの表示時間 (KEY TIMER)

ソフトキー表示中に操作をしない場合に、ソフトキー表示が消えるまでの時間を設定できます。工場出荷時設定は“5 sec”です。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲/▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲/▼キーを押して“KEY SETUP”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲/▼キーを押して“KEY TIMER”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
5. ▲/▼キーを押して、“3 sec”、“5 sec”、“7 sec”、“10 sec”、“15 sec” から時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。



6. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。

設定メニュー (SETUP) 操作

設定メニュー (SETUP) を使用して、本機のさまざまな機能を使い方に合わせてカスタマイズすることができます。

設定メニューの基本的な操作

1. [MENU/SET] キーを長押しして、メニュー画面を表示させます。
2. ▲ / ▼ キーを押してメニュー項目を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼ キーを押して変更する項目を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼ キーを押して設定値を選択します。
5. [ENTER] ソフトキーを押すと設定が保存され、一つ前の画面に戻ります。
6. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。
[BACK] キーを押して、一つ前の画面に戻ることもできます。

チャンネル設定 (CHANNEL SETUP)

チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)

このメニュー項目では、本機のチャンネルグループを USA / INTERNATIONAL (インターナショナル) / JAPAN から選択できます。


注意：日本国内では工場出荷時設定の“JAPAN” のままでご使用ください。公海上など日本国外では INTERNATIONAL または USA に変更することができます。

詳しくは“チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)” (XX ページ) を参照してください。

ウェザーアラート (WEATHER ALERT)

NOAA (アメリカ海洋大気局) ウェザーチャンネルのウェザーアラート (気象警報) 受信機能のオン / オフを設定します。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼ キーを押して“CHANNEL SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼ キーを押して“WEATHER ALERT” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

- ▲ / ▼キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します。
工場出荷時設定は “OFF” です。
- [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
- [CLR/ ] キーを押して通常画面に戻ります。



スキャンメモリー (SCAN MEMORY)

メモリースキャン時にスキャンするチャンネルを設定します。

詳しくは “スキャンメモリの設定” (17 ページ) を参照してください。


スキャンタイプ (SCAN TYPE)

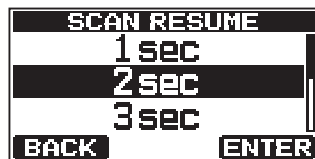
メモリースキャンの動作を “M-SCAN” (メモリースキャン) と “P-SCAN” (プライオリティスキャン) から選択します。

詳しくは、 “スキャンタイプの設定” (17 ページ) を参照してください。

スキャン再開時間 (SCAN RESUME)

スキャン中に一時停止しているときに、受信していた信号が無くなってから、スキャンを再開するまでの時間を設定します。工場出荷時設定は “2sec” (2 秒) です。

- [MENU/SET] キーを長押しします。
- ▲ / ▼キーを押して “CHANNEL SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
- ▲ / ▼キーを押して “SCAN RESUME” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
- ▲ / ▼ キー を 押 し て、“1sec” ~ “5sec” から、スキャンを再開する時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。
- [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
- [CLR/ ] キーを押して通常画面に戻ります。




マルチワッチ (MULTI WATCH)

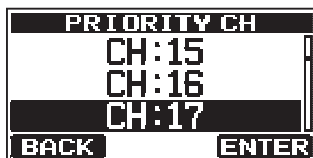
マルチワッチ機能の動作を“DUAL” (2 波受信) または“TRIPLE” (3 波受信) から選択します。

詳しくは“マルチワッチ機能の設定” (20 ページ) を参照してください。

プライオリティ チャンネル (PRIORITY CH)


プライオリティスキャン時に、優先して受信するプライオリティチャンネル (優先チャンネル) を設定します。工場出荷時設定は、“チャンネル 16” です。

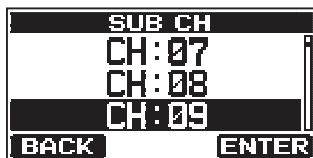
1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して “CHANNEL SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して “PRIORITY CH” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、プライオリティチャンネル (優先チャンネル) に設定するチャンネルを選択します。
5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
6. [CLR/ ] キーを押して通常画面に戻ります。



サブチャンネル (SUB CH)

サブチャンネルを設定します。工場出荷時設定は“チャンネル 9” です。サブチャンネルは [16/S] キーを長押しすると、呼び出すことができます。また、トリプルワッチ (3 波受信) 中に定期的に受信します。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して “CHANNEL SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して “SUB CH” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、サブチャンネルに設定するチャンネルを選択します。
5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
6. [CLR/ ] キーを押して通常画面に戻ります。



FM ラジオ受信機能の設定 (FM SETUP)

FM ラジオ用メモリーに追加する (ADD)

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“FM SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して“ADD” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して“FREQ:” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
5. ▲ / ▼キーを押して、周波数の数字を入力します。
注意: 65.0 ~ 108.0MHz の範囲外の周波数をメモリーすることはできません。
6. [SELECT] キーを押して、カーソルを次の桁に移動します。
7. 手順 5 と 6 を繰り返して、周波数を入力します。
もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた数字を選択して手順 5 と 6 に従って正しい数字を入力します。
8. 周波数をすべて入力したら [SELECT] ソフトキーを押して“FINISH” を選択して、[ENTER] をソフトキーを押します。
注意: 65.0 ~ 108.0MHz の範囲外の周波数はメモリーできません。
9. ▼キーを押して“NAME:” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
10. ▲ / ▼キーを押して“、メモリータグ (名前) の文字を入力します。
11. [SELECT] キーを押して、カーソルを次の桁に移動します。
12. 手順 10 と 11 を繰り返して、メモリータグを入力します。
もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 10 と 11 に従って正しい文字を入力します。
13. 12 文字すべて入力するか、または◀ / ▶キーを押して“FINISH” を選択して、[ENTER] ソフトキーを押すとメモリーされます。



FM ラジオ用メモリーを編集する (EDIT)

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して “FM SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して “EDIT” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して編集するメモリーを選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。



5. “FM ラジオ用メモリーに追加する (ADD)” (29 ページ) の手順 4 ~ 14 に従って操作します。

FM ラジオ用メモリーを削除する (DELETE)

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して “FM SETUP” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して “DELETE” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して削除するメモリーを選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。
削除の確認画面が表示されます。



5. ▲ / ▼キーを押して “OK?” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
削除を中止する場合は、“CANCEL” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

設定 (CONFIG)

ビープ音 (KEY BEEP)

キー操作をしたときのビープ音の音量を変更します。工場出荷時設定は“3”です。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して“KEY BEEP”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、ビープ音の音量を“OFF”、“1”～“5”から選択します。
5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。

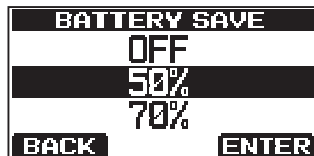


6. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。

バッテリーセーブ機能 (BATTERY SAVE)

受信待機時のバッテリーの消費を抑えるバッテリーセーブ機能の設定を変更します。工場出荷時設定は“50%”です。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して“BATTERY SAVE”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、バッテリーセーブ機能の設定を“OFF”、“50%”、“70%”、“80%”、“90%”から選択します。
5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
6. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。



ストロボLEDランプ (STROBE LED)

ストロボLEDランプの動作の設定をします。

● EMERGENCY

ストロボLEDランプの発光（点滅）パターンを設定します。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

3. ▲ / ▼キーを押して“**STROBE LED**”を選択して、[**SELECT**]ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して“**EMERGENCY**”を選択して、[**SELECT**]ソフトキーを押します。

注意: 設定の確認のためにストロボ LED が実際に点灯します。

5. ▲ / ▼キーを押して、発光（点滅）パターンを“**CONTINUOUS**”（連続点灯）、“**SOS**”、“**BLINK 1**”、“**BLINK 2**”、“**BLINK 3**”から選択します。



工場出荷時設定は“**CONTINUOUS**”です。

6. [**ENTER**]ソフトキーを押して、設定を保存します。
7. [**CLR/ On**]キーを押して通常画面に戻ります。

● WATER HAZARD

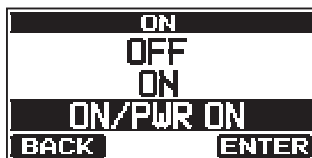
HX210J を水に落としたときのストロボ LED ランプの動作を設定します。

1. [**MENU/SET**]キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“**CONFIG**”を選択して、[**SELECT**]ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して“**STROBE LED**”を選択して、[**SELECT**]ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して“**WATER HAZARD**”を選択して、[**SELECT**]ソフトキーを押します。
5. ▲ / ▼キーを押して、ストロボ LED ランプの動作を選択します。

OFF: 水に落としても点灯しません。

ON: 水に落としたときに点灯します。

ON/PWR ON: 水に落としたときに点灯して、HX210J の電源がオンになります。



工場出荷時設定は、“**ON/PWR ON**”です。

6. [**ENTER**]ソフトキーを押して、設定を保存します。
7. [**CLR/ On**]キーを押して通常画面に戻ります。

キー設定 (KEY SETUP)

ソフトキーの機能を変更します。詳しくは“ソフトキーの機能設定 (ASSIGNMENT)” (24 ページ) を参照してください。

バックライトの輝度調節 (BACKLIT LEVEL)

画面とキーのバックライトの明るさを調節します。工場出荷時設定は“5”です。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して“BACKLIT LEVEL”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、“OFF” (消灯)、“1” ~ “5” から選択します。
5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
6. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。



バックライトの点灯時間 (BACKLIT TIMER)

画面とキーのバックライトの点灯時間を設定します。工場出荷時設定は“5 sec”です。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して“BACKLIT TIMER”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼キーを押して、バックライトの点灯時間を選択します。
OFF: バックライトは点灯しません。
3/5/10/30 Sec: キーを押すとバックライトが設定した時間、点灯します。
CONTINUOUS: バックライトは常に点灯します。
5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
6. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。




画面のコントラスト調節 (CONTRAST)

画面のコントラストを調節します。工場出荷時設定は“15”です。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
 2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
 3. ▲ / ▼キーを押して“CONTRAST”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
 4. ▲ / ▼キーを押して、画面のコントラストを“1”～“30”から選択します。
 5. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
- 
6. [CLR/ On] キーを押して通常画面に戻ります。

リセット (RESET)

設定メニュー (SETUP) の設定の一部または全てをリセットすることや、本機を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. [MENU/SET] キーを長押しします。
 2. ▲ / ▼キーを押して“CONFIG”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
 3. ▲ / ▼キーを押して“RESET”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
 4. ▲ / ▼キーを押して、リセット操作の種類を“CHANNEL”、“CONFIG”、“ALL”から選択します。
 5. [SELECT] ソフトキーを押します。
リセットの確認画面が表示されます。
 6. ▲ / ▼キーを押して“OK?”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
リセットを中止する場合は、“CANCEL”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
- 

定格

●一般定格

周波数範囲：	156.025MHz ~ 162.000MHz 受信：156.050MHz ~ 163.275MHz (詳細は国際 VHF チャンネル表を参照)
周波数ステップ：	25kHz
周波数安定度：	± 3ppm (-20°C ~ +60°C)
電波型式：	音声：F3E
アンテナ・インピーダンス：	50 Ω
電源電圧：	DC 7.4V、マイナス接地
消費電流：	330mA (受信時、音量最大) 100mA (受信無信号時) 1.6A/1.0A/0.7A (送信 5W/2.5W/1W 時)
使用温度範囲：	-20°C ~ +60°C
本体寸法 (突起物を除く)：	60 × 132 × 40mm (幅 × 高さ × 奥行)
本体重量：	約 280g (アンテナ、ベルトクリップを含む)

●送信部

送信出力：	5W/2.5W/1W
変調方式：	バリエابل・リアクタンス変調
最大周波数偏移：	± 5kHz
不要輻射強度：	-75dBc 以下

●受信部

受信方式：	ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン
受信感度：	0.25 μV (12dB SINAD)
選択度：	12kHz/25kHz (-6dB/-60dB)
隣接チャンネル選択度：	約 70dB
相互変調：	約 70dB
S / N比：	約 40dB
低周波出力：	600mW @16 Ω 10% THD (電源電圧 7.4V、内部スピーカー使用時)

●FM ラジオ放送受信部

周波数範囲：	65MHz ~ 108MHz
周波数ステップ：	100kHz
受信感度：	1.0 μV (12dB SINAD)

国際 VHF チャンネル表

チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考	チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考
01	156.050	160.650		60	156.025	160.625	
02	156.100	160.700		61	156.075	160.675	
03	156.150	160.750		62	156.125	160.725	
04	156.200	160.800		63	156.175	160.775	
05	156.250	160.850		64	156.225	160.825	
06	156.300	156.300	すべての船舶相互間用	65	156.275	160.875	
07	156.350	160.950		66	156.325	160.925	
08	156.400	156.400	すべての船舶相互間用	67	156.375	156.375	
09	156.450	156.450	遭難緊急安全一般呼出用*	68	156.425	156.425	
10	156.500	156.500	すべての船舶相互間用	69	156.475	156.475	小型船舶間同士用
11	156.550	156.550	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	70	156.525	-	DSC専用
12	156.600	156.600	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	71	156.575	156.575	所属海岸局用
13	156.650	156.650	船舶相互間海上保安庁海岸局	72	156.625	156.625	小型船舶間同士用
14	156.700	156.700	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	73	156.675	156.675	小型船舶間同士用
15	156.750	156.750		74	156.725	156.725	所属海岸局用
16	156.800	156.800	遭難緊急安全一般呼出用*	75	156.775	156.775	
17	156.850	156.850		76	156.825	156.825	
18	156.900	161.500		77	156.875	156.875	小型船舶同士・所属海岸局との呼出・応答用
19	156.950	161.550		78	156.925	161.525	
20	157.000	161.600		79	156.975	161.575	所属海岸局用
21	157.050	161.650		80	157.025	161.625	
22	157.100	161.700		81	157.075	161.675	
23	157.150	161.750		82	157.125	161.725	
24	157.200	161.800		83	157.175	161.775	
25	157.250	161.850		84	157.225	161.825	
26	157.300	161.900		85	157.275	161.875	
27	157.350	161.950		86	157.325	161.925	
28	157.400	162.000		87	157.375	157.375	
				88	157.425	157.425	

※ チャンネル 09 はチャンネル CH16 が使用中の場合に使用します。
免許状に記されたチャンネルで運用してください。

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

2007M-BC-1
Printed in China

